

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、15～19℃台を示し、平年並み～やや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり32トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり19トンの水揚げで、前週の54%（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり26kgの水揚げで、前週の8倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり240kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり13kgの水揚げで、前週の3.2倍（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり96kgの水揚げ（前年を下回った）。
- 定置網――五島有川地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり188kgの水揚げ。五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり960kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが1日1統当たり47kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ブリなどが1日1統当たり155kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり339kgの水揚げで、前週の5倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（4/4～4/8の5日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、漁期終了。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬沖、山口沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「組織で探す⇒研究機関等⇒総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp>